

議員特別研修実施報告書

報告議員名	林 一輝	報告日	令和6年10月21日
調査研究・研修等 名 称	第19回全国市議会議長会研究フォーラム ー主権者教育の新たな展開ー		
実 施 日	令和6年10月9日～令和6年10月10日		
会 場	トーサイクラシックホール岩手 (岩手県民会館)		
調査研究・研修等の 概 要	1. ビデオメッセージ 菅 義偉 第99代内閣総理大臣 ほか 2. パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 3. 課題討議 「主権者教育の取組報告」		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙参照		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

1. 全国市議会議長会研究フォーラム ―主権者教育の新たな展開―

日時：令和6年10月9日(水)、10日(木)

場所：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）

①パネルディスカッション

「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター：井柳 美紀 氏 静岡大学人文社会科学部法学科教授

パネリスト：土山 希美枝 氏 法政大学法学部教授

越智 大貴 氏 一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事

渡辺 嘉久 氏 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局

遠藤 政幸 氏 盛岡市議会議長

成果と感想)

・主権者教育というと国政選挙に対してのことが多く、地方選挙に対してのものは少ない。そこに対してアプローチする事があっても良い。

・主権者教育を行うのは議会ではなく、行政や教育委員会、学校であるべきとのお話もあった。これについては、議会は教育をする役割ではないからである。議会としては、若き市民(将来市民)の政治・議会参加に寄与するような実践的な学びの場を与えるべきとのお話であった。また、行政や教育委員会や学校が主権者教育を行う際も、学校単位で行うのではなく、地域で行うべき。

・政治に対しての若者の意識調査の結果では「今の自国の政治に興味がありますか」という問いに対しては「ある」「どちらかといえばある」の合計は56.5%と低いわけではない。しかしながら、「自分で国や社会を変えられると思う」という問いに対しては、「思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合は45.8%と50%を切っている。これが問題であり、若者の中には、政治に関心がないから選挙に行かないというよりも「どうせ変わらない」から選挙に行かないということが分かる。

・主権者教育は子ども・若者「に」学ぶ機会を作るのではなく、子ども・若者「と」機会を作ることが大事である。主権者に教えるのではなく、教えてもらい、一緒に考えるといった姿勢が重要。

・「議員は外に出よ」との事であった。議員、議会自らが積極的に外に出ていき、市民や若者と交流することが大事である。

・市民の方々には、地方議会の二代表制を正しく理解している方が凄く少ない。これについても市民の皆さんに学びの機会を提供すべき。

②課題討議

「主権者教育の取組報告」

コーディネーター：河村 和徳 氏 東北大学大学院情報科学研究科准教授

パネリスト：白鳥 敏明 氏 伊那市議会前議長

諸岡 覚 氏 四日市市議会議員（第83代議長）

服部 香代 氏 山鹿市議会議長

成果と感想)

- ・主権者教育では、よく投票体験をさせるが、投票体験ではなく、立候補体験をする取り組みがあっても良いのではないか。
- ・四日市市議会では「よっかいち市議会だより#こども号」を毎年7月初めの夏休み前に発行しているとのことで、多くの児童が夏休みの自由研究として活用しているとのことであった。面白い取り組みだと思い、当市議会でも検討してみたい。
- ・四日市市議会では、従来までは議会報告会を行っていたが、参加者の減少や固定化があり、対象を若年層とした「ワイ！ワイ！GIKAI」を行っているとのこと。開催は、議会から学校から働きかけて開催する場合と学校から申込を受けて開催する場合があるとのこと。開催は常任委員会単位で行っており、生徒と議員で選挙ポスター作りをする取り組みなどが新鮮だった。堅いイメージがある議会、議員との意見交換会を少しでも参加しやすくするために親しみやすいカタカナ名にしたのは良いと思った。
- ・伊那市議会では、意見交換に参加した高校生より請願が提出されたとのこと。また、高校生からの通学路の街灯増設の要望について、担当常任委員会として現地確認し、執行部へ改善要望を提出したとのお話であった。学生や市民の皆さんにとっては、自分の声が反映されていると感じることは政治に興味をもち、参画するうえで非常に重要なファクターだと思うので、当市議会でもこういった取り組みが出来ないか検討したい。
- ・スポーツをするにもルールを覚えるだけでなく、プレイしないと楽しさは感じづらい。政治や選挙についても机の上で学ぶばかりではなく、体験・体感することが重要である。
- ・自分の意見で地域を、国を変えられるかもしれないということを、小さい時から経験することが重要で、そういった機会を行政や議会が積極的に作っていくべきである。

